

募金を寄付しました

こんにちは
津久見高校です

イラストは、河久美彩さん
(普通科3年)の作品です。



津久見高校では「一人一ボランティア活動」を目標に多くのボランティア活動に参加しています。12月21日(土)には、津久見市内のスーパーの店舗前にて歳末助け合い募金活動を行いました。



強風と厳しい寒さの中ではありますが、参加した17名の生徒は大きな声で募金を呼びかけました。集まった募金は、津久見市社会福祉協議会・ユニセフに寄付させていただきました。募金活動にご協力をしていただきました皆様方、本当にありがとうございました。



生徒のコメント

- ・募金活動を通じて、地域の方々の温かさを知ることができました。
- ・たくさんの募金が集まったことにびっくりしました。小さな力の集結が大きな力になることを実感しました。
- ・人と人とのつながりはとても大きく、大切なものだと感じました。
- ・この活動を通じて、募金の使われ方を知る機会となりました。
- ・地域の皆さんとも触れあえてよかったです。

また、12月19日(木)には、総合ビジネス科1年生が文化祭のクラス企画で得た益金を、津久見市へ寄付するために、市役所を訪問し、市長へ手渡しました。



津高生 One By One

宗 美幸：普通科2年、ソフトテニス部キャプテン、津久見第一中・津久見小出身



今月は、普通科2年生の宗美幸さんの登場です。現在2期連続女子ソフトテニス部のキャプテンを務め、学習にも熱心に取り組む女子高生です。宗さんにインタビューしました。(宗さん：S、 インタビュアー：I)

- I：ソフトテニスをはじめたきっかけは……？
- S：小学校の時は、バドミントンをやっていたんです。中学校に入学したとき、バドミントンと一緒に汗を流した先輩から、「ソフトテニスをやるう」と誘われたのがきっかけです。
- I：キャプテンを任されているんですけど……大変ではないですか……？
- S：はい。1年生の秋からずっとキャプテンを務めています。津久見高校の女子ソフトテニス部は、総勢7名で、しかもみんな仲がよいので、試合に向けての技術練習や、メンタル面の向上も言わせて、楽しくやれています。
- I：11月に行われた県新人戦では、見事ベスト4になったと聞きましたが……
- S：はい。ベスト4に進出できました。あの日は、一人が都合で試合に参加できませんでした。あと二人でも欠ければ、団体戦出場を棄権しなければならぬ、ぎりぎりの人数での試合でした。しかし、日頃から、お互いの気持ちを知り尽くした3ペアですので、予選トーナメントを勝ち上がることができました。4チームのみが進出した決勝リーグでは、苦戦を強いられましたし、力の差を見せつけられました。
- I：今の目標は……？
- S：はい、まずは、九州大会・全国大会(インターハイ)出場です。新人戦での反省を活かし、今、7人で懸命に練習しています。
- I：将来の進路はどのように考えていますか？
- S：私は、できるだけ多くの人に役立つ仕事をしたと考えています。今は医療事務の仕事に関心を持っています。
- I：得意科目は？
- S：顧問の先生の専門教科が数学ということもありますが、中学校の頃から、ずっと数学が一番好きです。
- I：ありがとうございます。夢実現に向けて、がんばってください。



本校のHP (<http://kou.oita-ed.jp/tukumi/>) にも情報が満載! アクセスしてください。